

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201575		
法人名	加藤建設株式会社		
事業所名	グループホーム ジョイ上足洗 ユニット名 りんご		
所在地	静岡市葵区上足洗2-11-2		
自己評価作成日	平成30年9月20日	評価結果市町村受理日	平成30年9月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.katgokensaku.mnfw.go.jp/ZZ/index.php?action_kounyo_u_detail_2017_022_kani=true&lievosvoCd=2294201575-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年9月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

前年度は同様料理の盛り付け・味・食事について工夫をしてきました。今年も継続しながらご本人様が自分らしく楽しく生活ができる様支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

本事業所では時節の食材を活かして丁寧なメニュー提供をおこなっていたことから、前回の外部評価を通じて献立アルバム制作や掲示PRに至り、家族をはじめ来客者に好評を得ています。もう一つの目標だった「個性が居室にも現れるよう…」ということも、家族協力を得て実現しつつあり、その裏付けとして今月念願の満床を果たしています。目標をしっかり達成して弾みもつき、外部評価の調査訪問前から職員に目標達成計画シートを配布し、個人の想いや願いを洗い出すなど熱意ある取組みが見られ、また運営推進会議では管理者の手作りロールケーキを出席者に振る舞うといった縁の下の力的な努力を積み重ねています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	経営理念揭示し、申し送り時に唱和する。	理念唱和ができる日、できない日もあり、浸透への懸念から、「どうしたら実現できるか」というのは職員アンケートを通じて具体策を洗い出しています。それとともに、これまで1枚に凝縮して貼り出していた方法から、捉えやすく大きく貼り出すよう替えることを決めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のドブ掃除・防災訓練・お祭など参加をし、少しずつ交流を深めている。	開設から3年目で「まだまだ地域と親しく」とまでには及んでいませんが、自治会長、大家さんの助言で見学会を開くことも準備され、徐々に進行しています。玄関にも敬老会と運営推進会議の開催案内がポスター掲示されていました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	大々の行ってはいいないが、運営推進会議にて、理解していただけるよう説明を行っている。地域との交流が浅いため貢献ができていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の代表者・ご家族様中心に意見交換を行い運営に生かしている。	管理者は「本会議を充実させたい」と願っており、その想いから抹茶ロールケーキを手作り提供したりと、工夫しています。その気持ちにメンバーも十二分に応えてくださり、運営推進会議以外での協力も増えています。	行政の出席が見られないため、次のことに取組むことを期待します。①年間で開催日を決める(例、奇数月の第三火曜日)②地域包括支援センターに直接依頼に出向く
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当との連携は密に取れていない。	急変があったため集団指導には出席できていませんが、冊子のコピーは本社から届くことになっています。静岡市社会福祉協議会の主催するボランティア派遣の利用やシニアサポーター登録も視野に入れて、書面準備に入っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束現状行ってない。職員に対し、理解してもらった様その都度説明をしている。	家族の意向を以て取り付けたセンサーですが、「できれば外していきたい」として家族と協議中の例や、「スピーチロックを撤廃したい」と勉強会を重ねており、総じて本件に真摯に取り組んでいます。また法令に基づく委員会設置とともに、第1回の会議も終えています。	委員会は法人内の各事業所管理者をメンバーとしているため、会議の内容を職員と共有していることが確認できる記録を残すことを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法について学ぶ機会が作れていないが、防止に努めるよう職員で行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会ができていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前・契約時に十分な説明を行っている。 ご家族様からの問合せがあれば対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に反映できるようご家族様・利用者様と時間をつくり反映している。各職員に反映できる様努めている。	笑顔の写真満載のたよりを毎月届け、家族からは「楽しいことをやってくれてありがたい」「こんな笑顔初めてみた」といった嬉しい感想が届いています。家族は管理者の携帯番号も得ていて、何かあれば直接連絡が入り、情報共有が確かです。	現在のたよりに他利用者の写真掲載が沢山あって「通信」や「新聞」の形となっているため、プライバシー保護の観点から、個別のたよりとなれば、なお良いと思います。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個々に面談を行ったり、職員会議などで意見を聞き反映できる様活動している。	職員は言い過ぎるほど言えていて、管理者としてはそれを整理整頓して、優先順位を決めることの方に力を注ぐ有様で、意見集約は堅固です。「(昔は)ビンだったね。瓶の牛乳とりたいね」といった何気ない意見も検討し、今は乳酸菌飲料を毎日利用者全員飲んでます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	前年度より残業が軽減はされている。働きやすい環境になる様見直しを行っている。資格・研修への配慮も行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修ランクアップ試験を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流は図れていない。 社内勉強会行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前面談を行う。必要であればご家族様とも連絡をとり対応をしている。入居後本人とコミュニケーションを図り安心した生活が確保できる様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様要望・不安困っていることがあれば、細目に連絡をとり、早めに対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人のADLを把握をし福祉用具の利用ができるよう努め、希望があれば他のサービスも対応できる様努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様ができることを、職員と共にに行い関係づくりを築いてる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	共に支えて行ける様ご家族様共密になり、話し合い協力して頂けるよう促している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・ご家族様馴染みの方が来れる様環境作りを行っている。全ての利用者様に支援できていない。	ほぼ毎日面会という人もいますが、少ない人もいるため、そういった場合には事業所から電話を入れ、何らかの用事をお願いして来所を促進しています。本人の希望から実費でデイサービスに通う人は、家族とともにデイ仲間と中華街旅行などでも楽しんでます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配慮を行ったり、利用者様同士が関わりできるように配慮、支援行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所者様のご家族様からご連絡があった場合必要に応じ対応をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・家族からの情報収集を行い、なるべく本人の意向に添えるように努めている。	最初開所した1階は担当制が生まれ、2階も満床となり落ち着いたことから同様に進める予定です。日中は何も話さなくても夜になると夜勤者と様々話したり、昼間言えないことを言いに来たりということがあり、想いの収集、把握は主に夜間おこなわれています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時細かく聞き取りをしているが、入所後も把握ができるようご家族様・ご本人様と密になり確認をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人一人一人心身状態等把握できるよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議で話し合いを行ったり、課題があれば介護計画を作成をし対応をしている。	各ユニットに計画作成担当者を置き、また其々が管理者、介護支援専門員であることから、密に協議できており、サービス内容も具体的にわかりやすく作られています。当初事務所に置いていた介護計画書をリビングに移しており、モニタリングシートの導入も視野に入れていきます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	細かな記録ができていないが、情報が共有できるよう申し送りノートを活用したり、細かく申し送りで伝えている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・ご家族様と話し合いながらできる範囲で支援行っている。次回の課題にあげ取り組むよう努力している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現状うまく活用できているとは言えないが、豊かに暮らせるよう支援している。訪問理美容など。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間往診、受診が必要であればご家族様に依頼。難しい時はこちらで対応している。	1ヶ月に2回の訪問診療のある協力医に全員が替わっています。専門医については家族に通院介助をお願いしていますが、事情があれば職員が速やかに代行し、また医療情報は家族から口頭で受け取ったときも介護記録に残しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診ナース・訪問ナースと連携を取り相談し受診が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院直後や、退院前に面談を行い、利用者様の状態把握に努め、なるべくADLの低下を抑えられるよう早期退院をご家族様・病院と連携を取り目標にしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した場合や、終末期についてはご家族様に説明している。	「看取りはおこなわない事業所である」ことを契約時に家族に説明し、「利用時リスク説明書」を以て合意を得ています。これまでに救急搬送から療養型へ移設して亡くなった例がありますが、家族と連携して滞りなく進めることができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練は実施できていない。管理者による夜間コールセンターにて対応している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内の防災訓練にて参加し、職員は把握できているが、まだ地域との協力体制は築けていない。	事業所がおこなう2回の法定訓練の内1回は消防署の立ち合いを求め、他1回は地域の防災訓練の日に併せダブル訓練としていて、第一次避難所には利用者は徒歩で模擬避難しています。	備蓄の見直しとともに、水害対策マニュアル及び訓練があると、なお良いと思います。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ごく一部の職員は、その場に適さない声かけをしている場合があるため、その都度声かけに対し、職員には伝えている。	手打ちなどの合図を決めて、本人本位に関わることを普段からおこなっており、「脱衣やトイレ使用では他の人の目に触れないように」ということは管理者から繰り返し、指導しています。	2階のトイレの消耗品のプレートは小さいものの名前が入っていましたので、是正を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる事は自分でできるように支援を行い環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースになってしまう所もあるが、なるべく利用者様に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来ている人と、できていないがいる。できていない人は可能な限りできるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好きな料理を取り入れ、利用者様ができる事は職員と一緒にいる。	2～3日に1度の買い出しで、旬の物を彩りよく提供しています。飲み込みが心配だったり、食が進まない人には隣に職員が座り、皆でテーブルを囲む和やかな食事風景で、「堅いねえ」「味はいいんだけんね」とつぶやきながら、しっかりと常食を完食する101歳の姿も中にはあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量は記録に残し、その時に応じ対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人ができる所まで行って頂き、できない所は職員が介助おこなう。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導が必要な利用者様は定時誘導している。自立に向けて排泄できるよう支援している。	長期目標が「トイレで排泄できる」、短期目標が「尿意、便意を伝えることができる」という人もいて、トイレでおこなうことで自立が続くように支援しています。夜間の転倒リスク軽減と腰痛などの身体的な理由からPTイレを置く部屋も4箇所ほど在ります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	処方された下剤で対応しているが、飲み物食べ物を工夫し自然排便できるよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日、時間を固定しているが本人の希望も聞いている。	入浴は週2回を目安として、また毎朝陰部洗浄をおこない、清潔にも丁寧に取組んでいます。デイサービスでの入浴と併せると毎日となる人や、「夕方入りたい」の希望にも応え、浴剤も多種類備え選んでもらっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や習慣に合わせて横になる時間を作っている。ソファなどで対応・工夫している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	共有できる様にファイル作り各ユニットに置いている往診後も細かく書き共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日ではないが気分転換が図れるよう外へ散歩、ドライブに行っている。一人一人の力を活かした役割行っていたいっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	全員ではないが家族の協力にて外出支援はできている。施設では企画を立て行っている。	大家さんの畑を覗いたりど、近所の散歩や良材の買い出しに出かけ、利用者にはスーパーマーケットの籠を押してもらったりしています。1年を通しての外出行事はなく、個別のお出かけとなっていて、いっぺんに出るのが難しいため、テラスでBBQしてキャンプもどきを味わったりしています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は施設で行っている。外出の時などに使える様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙等はあるが電話のやり取りは実績がない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	イベント、食事の写真などを貼り季節ごとの背景を作る様に心がけている。今日は玄関に鈴虫などを置く。	夜間はトイレ掃除と、フロアのモップがけ、昼間は掃除機をかけて毎日清掃しており、清潔です。職員が自宅から花を持ち込んだり、またリースやクラフトの得意な職員が多くいて、壁にはクオリティの高い作品が並び目が和みます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーに座りながらTVを見たり利用者同士が過ごせる様に席を工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしさ、馴染みの物を居室に置き居心地よく過ごせる様配慮している。	家族がインテリアに配慮し、ブラウン系で重厚感のある空間に仕上がった部屋では、訪れる娘さんと小さなテーブルを挟んでティータイムが成されています。実物大の大型犬のぬいぐるみや県知事から贈呈された百寿の賞状が飾られた居室もあります。	法人内の事業所から譲り受けたという筆筒はやや大きく地震が心配です。耐震突っ張り棒の取り付けを期待します。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子、自立の方が生活しやすい様に利用者様のADLに合わせて環境を作っている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201575		
法人名	加藤建設株式会社		
事業所名	グループホーム ジョイ上足洗	ユニット名	もも
所在地	静岡県葵区上足洗2-11-2		
自己評価作成日	平成30年9月20日	評価結果市町村受理日	平成30年9月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=2294201575-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年9月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

前年度は同様料理の盛り付け・味・食事について工夫をしてきました。今年も継続しながらご本人様が自分らしく楽しく生活ができる様支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

本事業所では時節の食材を活かして丁寧なメニュー提供をおこなっていたことから、前回の外部評価を通じて献立アルバム制作や掲示PRIに至り、家族をはじめ来客者に好評を得ています。もう一つの目標だった「個性が居室にも現れるよう…」ということも、家族協力を得て実現しつつあり、その裏付けとして今月念願の満床を果たしています。目標をしっかり達成して弾みもつき、外部評価の調査訪問前から職員に目標達成計画シートを配布し、個人の想いや願いを洗い出すなど熱意ある取組みが見られ、また運営推進会議では管理者の手作りロールケーキを出席者に振る舞うといった縁の下の力的な努力を積み重ねています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は常に提示しているが、共有し実践に繋げてるとは言えない。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	まだ日常的とは言えないが一歩ずつ踏み出し始めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域交流会時に認知症の方の事を理解していただくよう努めご意見などを活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	わずかな人数ではあるが、興味を持ち参加してくださる。ご家族様・地域の方との話し合いなど続行中。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	まだそこまでの連携は取れてはいないが、今後努力はしていく。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	上司からも、かなり厳しく指導は受けており、又伝えている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を持つ事は視野にあるが時間を持っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は十分な理解を得て納得して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の様子、変化などご家族様に随時報告をし意見や、要望について職員間で検討し反映させてる。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度管理者が職員と面談をし、それぞれの意見を聞く場を設け反映させてる。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	平等性を重視し、過酷な勤務状況は分担し助け合うことで個々の役割、重要性それを果たす事で結果がでる事を指導している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ランクアップ試験を受ける機会や、職員自ら講習会への出席、試験など積極的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の交流は取れていない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談を元に、フェスシートを職員が確認をしご本人の行動パターンなどを観察した上でその方に合わせたケアサービスを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時にご家族様と面談を行いできる限り要望にこたえられる様傾聴に努め安心して頂けるよう説明させて頂き関係を平穩に保っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居された時点でまずいごちの良い雰囲気を作り、ご本人、ご家族様が必要とする支援を伝えやすい状況づくりに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事に着目し、一定の距離感を持ちながらご本人を尊重した上で自然体の暮らしをして頂くサポートに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など、ご本人とご家族様、職員の三者でお話をし雑談などもいれ、日頃の様子を伝えさせて頂き良い関係を保つ努力をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の過去の趣味などに関係するご友人の来所を気さくにさせていただく様努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配置などで、利用者様同士の相性を考え言葉かけ合い易しい状況づくりをしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	やむを得ず、契約を終了しなければならない時、退居ギリギリまでサービスや声かけ話し合いに努め再入居の相談、実践を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを把握しながら、ご家族様とも相談し、より近い希望に添えるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から得た情報を元にご本人を通じてサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、ケアスケジュールからわずかな変化にも気づき改善すべき点については早急に対処すべき把握に努める。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状の課題を検討し、介護計画を作成し反映している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りにて職員間で情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家屋の意向により訪問サービスの活用、施設で対応できる範囲であるなら個々に支援を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア活動、訪問薬局、マッサージ、訪問理美容、介護タクシーなどを活用することにより暮らしを楽しむ事ができる支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療以外でも必要に応じてご家族様の希望、医院への受診ができる様支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化に素早く気づき常日頃から相談も状況も伝える支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院等の際、代表者がご家族様や病院関係者と相談し退院後その状況を在宅への報告をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の時点で説明させていただいている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	在宅による夜間コールセンター対応医師より指示を仰いでいる。訓練の実践は行っていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練により消防署員から指導を受けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	傾聴することを重視し、失礼のない言動、対応を心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	安全性を重んじ、全ての希望にはそえかねる部分もあるがそれ以外の希望の表現自己決定には働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様を優先しペースを合わせる様心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容、活用の際などに髪型の希望や、洋服着用する際利用者様に決定して頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューなどに力を入れており、一緒に作る事のできるイベントなどの企画、実行を行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	とても重視しており、水分不足などにならない様職員全員で取り組んでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必ず行っており、業務の流れの中のプログラムに入っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	業務の流れスケジュールの中にトイレ誘導を確実にしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便コントロールを職員全員が把握し、飲食物での対応や排便を促がす投薬治療も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴スケジュール表にそって全員が入浴できる様に努めている。入浴拒否者に対しては希望を優先している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠の妨げにならない程度の日中の休息や室温の調整などを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診ごとに薬表をファイリングし、薬剤師からの説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日レクリエーションとして、企画をたて実行し、季節による洋々なイベントに力を入れている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	イベントとしての外出があっても希望にそって戸外へ。ご家族と外出。できる方と、そうでない方に別れている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の希望によりご本人が持つ事もあるが、管理のできない方は事務所に保管している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話等の対応はできていない。手紙等のやり取りの支援は行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備には、力を入れており季節を感じていただく飾りつけをシンプルにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性を考え席の配置をし安全面を重視した上で居室へ戻りたい方は戻れるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた物を持って来て頂くようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	余分な物は置かず事故のない様に把握している。ご本人の生活パターンを観察し一部介助しつつできる事を優先されている。		